

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和7年度東広島市国際化推進プラン審議会
開催日時	令和7年5月29日（木）14:00～15:30
開催場所	東広島市役所本館3階 303会議室
出席者氏名	本田委員、杉本委員、西田委員、下宮委員、赤木委員、カオ委員、高良委員、中西委員、佐々木委員
欠席者氏名	村岡委員、小松委員、兼森委員、小川委員、奥村委員、友保委員
事務局職員氏名	生活環境部 大石部長、市民生活課 岩國次長兼課長、長尾国際交流係長、鈴木主査
会議次第	1 開会 2 議事 （1）第4次東広島市国際化推進プランのパブリックコメントの対応と最終案 （2）答申 （3）第3次東広島市国際化推進プラン実施事業の取組（令和6年度分）の検証と指標の確認 3 その他 （1）本市外国人市民の状況説明 （2）東広島市国際化推進プラン審議会スケジュール（案） 4 閉会

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・会議資料の確認 ・出席者の確認 ・委員、事務局紹介 ・前回の振り返り
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、ここからは会長が議長となり、議事を進めていただく。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは議事を進める。議事（１）第４次東広島市国際化推進プランのパブリックコメントの対応と最終案について、事務局からの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第４次東広島市国際化推進プラン（素案）のパブリックコメントにかかる意見提出内容及び市の考え方 ・第４次東広島市国際化推進プラン最終案 ・第４次東広島市国際化推進プラン概要版 ・第４次東広島市国際化推進プラン実施計画案
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・質問があれば伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・パブリックコメントの意見に対する市の考え方の公開方法はどのように考えているか。 ・パブリックコメントの意見に対する市の考え方と第４次プランの内容はどのように関係しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・公開については、パブリックコメントの募集時と同様に、市民生活課、各支所、各出張所、各地域センター及び市ホームページ等で公表する。 ・パブリックコメントに対する市の考え方は、プランに記載してある内容をもとに回答案を作成した。プランで定めている方向性と大きく異なる意見はなかったため、パブリックコメントによるプランの修正はない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・プランに対する意見なので、分かる範囲で、記載している市の考え方がプランのどのあたりに記載されているかを明記するのはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市の考え方の回答案を再度整理し、委員の皆様を確認いただく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第４次プランは、計画年度を令和７年から令和１２年までとしているが、それまでの間に、外国人市民の増加や特定技能の今以上の増加が見込まれる。個別施策を検討するなかで、令和１２年の外国人市民の人口等の予測はできているのか。現在の計画で令和１２年まで継続してよいのか、検証はどうするのか考えがあれば伺う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の外国人市民の人口推計は算出を試みたが、国の施策等にも影響されるものであり不確定要素が多いため推計値を出すのは難しいという結果になった。第４次プランに基づいて各施策を展開していくが、今後、外国人市民の状況に大きく変化が生じたり、見直しが必要な事項が出てくれば、毎年開催する審議会に諮り、柔軟に対応していく。時代の変化とともに、効果的な情報発信の方法等、状況に合わせて変化が必要なものもある。第４次プランを策定して終わりではなく、引き続き実施事業内容は検証しながら実施していく。

委員	<ul style="list-style-type: none"> 外国人市民に関しては、近年増加が顕著な国もある。外国人市民全体に対して様々な施策を展開しているが、個々の国を見ると、その国の方には届く情報が少ないという状況もあり得る。以前ベトナム人の増加が顕著な状況で、市役所にベトナム語のガイドブックを作成してもらい、とても役に立った。今後増加しそうな国を見極め、情報が届かず混乱した状況になる前に、多言語化等も含め情報の発信方法を検討してもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> プランの数値目標の一つとして、『東広島市での生活について「とても満足」「少し満足」している外国人市民の割合』を設定しているが、現状値（令和6年度）89.1%に対し、目標値（令和12年）が90.0%となっている。目標値と0.9%しか違いがないが、どのような考えがあるのか伺う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 本市の外国人市民は毎年4割の方が入れ替わっている状況。本市での生活の満足度を常に高く維持するためには、新規転入者を含め、継続的に外国人市民に対し取り組みを進めていく必要がある。目標の増加率は高くないが、現状を維持しつつ、令和12年度には満足度90%以上を目指す。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 続いて議事（2）答申について、事務局からの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 答申
会長	<ul style="list-style-type: none"> 質問があれば伺う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 質問が無いようなので、次に進む。 議事（3）第3次東広島市国際化推進プラン実施事業の取組（令和6年度分）の検証と指標の確認について、事務局からの説明を求める。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 第3次東広島市国際化推進プランにおける実施事業の進捗状況について 第3次東広島市国際化推進プラン実施事業一覧 第3次東広島市国際化推進プランの指標と現状値の確認
会長	<ul style="list-style-type: none"> 質問があれば伺う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 第4次プランについての質問。インターナショナルスクール誘致の検討が実施計画案にあるが、いつまでにどこまでやるかの評価基準があるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 実施計画案では、インターナショナルスクール誘致の検討を実施することを指標としている。小学校、中学校など、どの年代が通うインターナショナルスクールなのかということも、具体的な案はまだない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 今後、ニーズ調査や誘致の可否、こういった年代が通う学校なのかという具体的内容を検討すると思うが、第4次プランの計画年次の間にどこまでの到達を目指しているのか。令和12年までのおおよそのスケジュールを示してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 現時点で具体的スケジュールがあるわけではない。検討内容の進捗状況は毎年開催するプラン審議会でも前年度の実施内容として報告する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 第3次プランの指標と現状値の確認について、第3次プランの令和6年度の目標値は、こういった数字なのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 第3次プラン策定時（令和2年）の、令和6年度までに達成したい目標値である。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・第3次プランで定めた目標値に達成しなかった項目がいくつかあるが、未達成理由が、目標が高すぎたのかどうなのかというところは、第3次プラン策定時の現状値と合わせて確認しないとわからない。 ・『近所の日本人と「ほとんど付き合いがない」外国人市民の割合』『地域活動へ「参加したことがない」外国人市民の割合』を指標にしているが、2019年ごろまでは地域参画に意欲の強い外国人が多かった印象だが、コロナ禍明けくらいから地域に関わろうという外国人の割合が減っていると感じる。そういった状況も勘案して目標値を定めるとよい。 ・目標値に関しては類似都市があれば参考にしたらよいと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・新規転入者は本市での生活年数が短いため、地域でのつきあいがいい、地域活動に参加したことがない割合が高い。コロナ禍以降、地域の交流機会の促進に努めており、外国人市民の参加も少しずつ増えてきているが、第3次プランで設定した目標値を達成できなかった。 ・全国一斉に同じアンケートをしているわけではないが、類似団体等が公表している指標等も比較していく。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の日本人と付き合いがない外国人市民の割合を指標にしているが、外国人、日本人に関係なく、インターネットの時代になり個々の付き合いが減った。以前は地域で声かけや助け合いがあり、近所の人と絆があったと感じる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度の日本語教室の延べ受講者数は前年度と同等となっていることがわかるが、どのくらいのニーズがあってどのくらいの人日本語を学習しているのか。 ・令和6年度の日本語教室の延べ受講者数の目標値未達成理由として、周辺地域に住む移動手段が限られている外国人は参加しにくいという分析をしている。第4次プランでは、日本語レベルや開催地域、形態等を勘案しながらより多くの外国人市民が受講できる日本語教室を開催するとしているが、第4次プランでの運営方法はどのようにするか。開催場所を増加する、移動に対する助成を行う等検討しているものがあれば何う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語教室には3レベルのクラスと漢字クラスがあり、木曜日と日曜日に開催している。それぞれのクラスは全30回、延べ受講者数が300～400人である。日本語教室で継続的に学習している外国人市民は100人程度いる。 ・周辺地域に住む外国人でも受講しやすい日本語学習の機会として、本市全域で日本語教室を実施できるのが理想だが、予算や日本語教師の確保など課題が残る。昨年は、オンライン日本語クラスを開催し、できるだけ教師と受講者間で関わりが持てるよう、初回と最終回は対面で実施した。オンラインでは周辺地域に住む方も参加しやすいのでこういった実施方法を検討している。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・これで議事は終了とする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本市外国人市民の状況説明 ・今後のスケジュール（案） ・事務連絡 ・閉会